

コマツ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名	PC128US-11			
適用範囲		適用号機	50001～			
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度				
		ハイアイドルリング	min <sup>-1</sup>	2000±50		
		ローアイドルリング	min <sup>-1</sup>	1100±50		
		冷却水温	℃	75～94		
		作動油温	℃	45～55		
		弁すき間				
		吸気弁 隙間	mm	0.35		
		排気弁 隙間	mm	0.5		
		測定条件	℃	常温		
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差	MPa	2.0以上		
		kgf/cm <sup>2</sup>	20以上			
	冷却水温	℃	40～60			
	回転速度	rpm	320～360			
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力	MPa kgf/cm <sup>2</sup>	コモンレール		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] (中間を指で押す力) kgとNの両方で表記	mm N・m kgf	オートテンション		
走行装置	走行性能	最高速度	ゴム	秒	17以下	
			鉄			
		[測定方法・条件]			20m走行	
	(クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量)	mm		—
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]			
		鉄シュー	張り(たわみ量)	mm	10～30	
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]		アイドラとキャリアローラの間中部	[図3-2]
	リンクピッチの伸び	mm	178.3			
	[測定方法・条件]		1リンク			
	履板取付け ボルト 締付けトルク	N・m kg・m		角度締め		
	[測定方法・条件]					

コマツ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

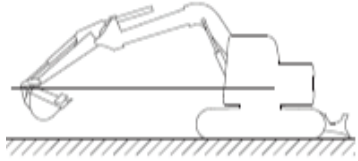
適用範囲		モデル名	PC128US-1		
適用範囲		適用号機	50001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	700	
		測定時間	分	15	
		作動油温	℃	45～55	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		[図4-1]	
		荷重	kg・N	720・—	
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	12	
		アームシリンダ	mm	90	
		バケットシリンダ	mm	40	
		ブレードシリンダ	mm	刃先47	
		測定時間	分	15	
	作動油温	℃	45～55		
	作業装置姿勢 (図面番号表示)		[図4-1]		
	荷重	kg・N	720・—		
作業機速度	ブーム 上げ	作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	4.4	
		[図5]			
	アームシリンダ 伸ばし	作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	4	
		縮め	sec	3.7	
	バケットシリンダ 伸ばし	作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	[図6]	
		縮め	sec	3.7	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		2.9	
	性能測定条件 (荷重・設定モード等)		無負荷		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	34.8 +2.0,-1.5	
		性能測定条件 ・油温 (設定モード等) ・エンジン回転 (min <sup>-1</sup> )	kgf/cm <sup>2</sup> ℃ (min <sup>-1</sup> )	355 +20,-15 45～55 Pモード・フル回転	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	343～382 35.0～39.0	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	245～308.9 25.0～31.5	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	98.8～122.5 10.0～12.5	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	303.8～362.6 31.0～37.0	
備考					

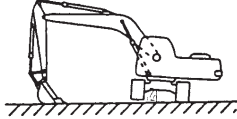
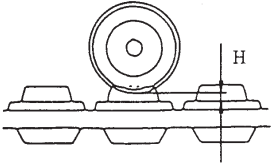
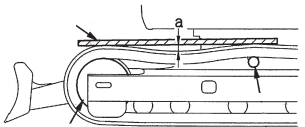
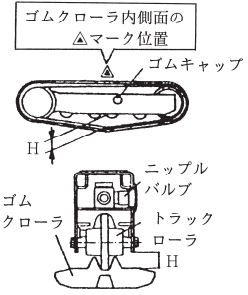
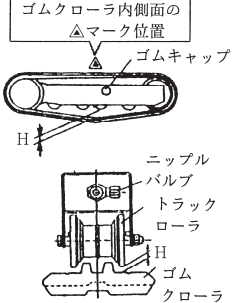
★印：新車基準値を表す。

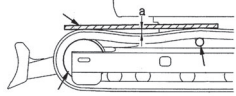
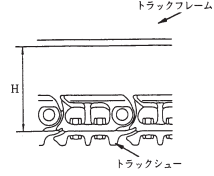
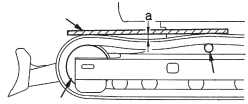
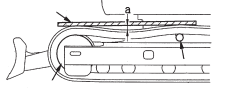
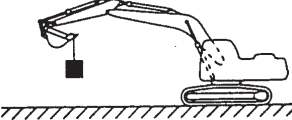
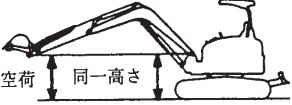
コマツ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

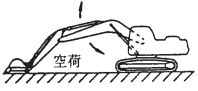
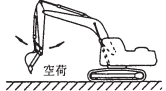
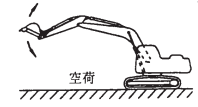
適用範囲		モデル名	PC128US-11	
		適用号機	50001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	旋回所要時間 旋回1回転後の5回転所要時間 アーム長： 作業装置姿勢（図面番号）	秒 mm	37.5以下 1720 [図8]

項目	測定方法
旋回所要時間測定姿勢	 <p>・エンジンフル ・作業モード：Lモード ・エアコンOFF</p> <p>(図 No.8)</p>

<p>走行性能測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンフル</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・履帯を片側ずつ持ち上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間</li> </ul> <p>(図 No. 1)</p>	
<p>ゴム履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせゴムクローラの継ぎ目部(Mマーク)をアイドラ・スプロケット間中心上側にし、トラックローラとゴムクローラ転動面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 2-2)</p>
	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、クローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-3)</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、アイドラ側より2番目のトラックローラ転動面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-4)</p>

	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 2-5)</p>
<p>鉄製履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 3-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 3-2)</p>
	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 3-3)</p>
<p>作業機自然降下量 及び 各シリンダの 自然伸縮量測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量およびバケットツース先端の降下量を測定する。</li> <li>・水平・平坦地</li> <li>・バケット：定格負荷</li> <li>・レバー中立</li> <li>・エンジン停止</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・セッティング直後に測定開始</li> <li>・5分毎に降下量を測定し、15分間にて判定する。</li> </ul> <p>(図 No. 4-1)</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン：停止</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・ブームピンとバケットピンの高さを同一とする。</li> <li>・上記の本機姿勢で10分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。</li> <li>・ブレード自然降下量は最大上げ位置より10分間のシリンダロッド縮み量を測定する。</li> </ul> <p>(図 No. 4-2)</p>

コ マ ツ

作業機速度測定姿勢	ブーム上げ	 <p>空荷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンフル</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> </ul> <p>(図 No. 5)</p>	 <p>空荷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンフル</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> </ul> <p>(図 No. 6)</p>
	バケットシリンダ 伸ばし 及び 縮め	 <p>空荷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンフル</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> </ul> <p>(図 No. 7)</p>	